

## 議会運営委員会記録

○開催日時

平成25年3月12日 午後3時21分～午後3時42分

---

○開催場所

第2委員会室

---

○出席委員（9人）

委員長	新原春二	委員	今塩屋裕一
副委員長	宮里兼実	委員	中島由美子
委員	福田俊一郎	委員	谷津由尚
委員	永山伸一	委員	小田原勇次郎
委員	佃昌樹		

---

○議長（地方自治法第105条による出席）

議長 瀬尾和敬

---

○委員外議員（会議規則第118条による出席）

副議長 杉菌道朗

---

○その他の議員

議員 井上勝博

---

○事務局職員

事務局長	田上正洋	管理調査グループ長	鬼塚雅之
議事調査課長	道場益男	議事グループ員	上川雄之
課長代理	南輝雄	議事グループ員	小島早智子
議事グループ長	瀬戸口健一		

---

○審査事件等

- ・ 議会運営について
-

△開 会

○委員長（新原春二）全員お揃いでありますので、ただいまから、議会運営委員会を開会いたします。では、議長に御挨拶をお願いします。

△議会運営について

○議長（瀬尾和敬）先ほど、会派代表者会議を開きました。その中で、衆議一決したことは、最近、当局の議案の提出の仕方があまりにも唐突ではないかということでありまして、議会としてしっかりと審議するという本分を我々は奪われていくのではないかと、むしろ議会軽視になるのではないかとというような、そういうような思いがありました。そこで、皆さんで決めていただいたのは、議会運営委員会をお願いして、本会議の場で当局にしっかりと議会の総意として意見を言った方がいいのではないかということでありましたので、皆さんにお集まりいただき、検討をお願いしたいということになります。ひとつよろしく願いいたします。

○委員長（新原春二）皆さん方から何か御意見はございませんか。

○委員（佃昌樹）さっき言ったことの踏襲だけど、今回の議案第77号の上程のやり方っていうのは、やっぱりあまりにも唐突すぎる。まあ、国や県の交付金の調整額が入ってくることにについては、これはもうしょうがないと思うけれども、やっぱり市単独の議案ということになると、きちっとやっぱり会期も決まっているわけだから、やっぱりそれに合わせて提案をしてもらいたいと思う。やっぱりこれは大事なことだと思うんですよ。これは蟻の一穴じゃないけれども、やっぱり一つがほげていくと、どんどん際限なく広がるので、やっぱり今止めどきではないかなと思いますね。だからまあ、議運の委員長の方で——そうでないと、我々も何回もせないかんことになるので。やっぱり議運の委員長の方で、スムーズな議会運営ということで、きちっと当局の答弁を引き出してもらいたいと思います。

○委員長（新原春二）ほかにございませんか。それでは、日程的な問題なんですけど、今日、第7回補正の質疑を全部終わりましたので、討論・採決に入るわけですが、それを済ませたあと、第8回補正になってからになると思うんですけども、それでよろしいですか。第8回補正になって、第

76号の提案が先ですよ。

○議会事務局長（田上正洋）第76号が先です。77号の継続費と76号が密接不可分ですので、そういう意味では、76号の時点で質疑、その中でされた方がいいのかなというふうに思います。

○委員（永山伸一）やり方としては、私もそれで賛成なんですけど、やはり、今度の7回補正の関係も含めて、8回と合わせて、やっぱり当局の——第7回補正の分も含めて8回のときに。きちっと提案の仕方についてはやはり問題があったのではないかと、はっきりと答弁を求めてください。

○議事調査課長（道場益男）ただいまの御意見なんですけれども、タイミング的には質疑のタイミングしか——タイミングというか上程がされて質疑・討論・採決というような流れになって参りますので、どうしても、意見的なものを言うとなると、質疑の場面しか出てまいりません。そうしたときに、永山委員が、さきほどございましたけれども、例えば議案第5号について意見を言った方がいいのではないかという話がちょっと出てくるんですけども、今、日程の73号で議案第76号の消防司令センターの工事請負議案について一番先に出てくるわけなんですけれども、議題とすれば、議案第76号が議題になってますので、それに関して議案第5号の質疑をしたりとかすると、また議題以外の話になってしまうということになりますので、話の持っていき方というのが非常に——御注意いただければと思いますけれども、例えば、質疑として76号について最終的には質疑という形に持って行って、関連で意見みたいな形で、何かほかのものをある程度散りばめて行って、最終的には76号のというような形に持っていかないと、ちょっと議題外になる懸念があるのかなと考えております。

○委員長（新原春二）分かりました。私が今考えているのは、今まで議論していただいたことを聞いておりましたので、まず76号の消防施設の関係につきましては、それなりに疑問に思っている部分もあるものですから、実際はその件については、現場カメラは据わるのかどうかということについて1件は質問します。それは議案の中での質問ですから、それを1件質問して、そのあとに、この提案がなぜ前日なのかということから始めて、例としては、今言われた観光株式会社の関係であ

御苦労さまでした。

ったり、それに伴うマスコミの報道であったり、インターネット配信であったりっていうのが先んじてどんどんいくと、議員が知らない間にどんどん進んでいくと。これについてはいかなものかということで、議案の出し方と議会軽視についてはどう考えますかという質問をしたいんですが、そういう関係でいいですかね。

○委員（福田俊一郎）この、議運でやっているわけですね。議運で、ここで意思統一をしてやるということで、私ども今議会運営委員長として議会の運営についての意見を当局に言わないかんわけですよ。ですから、いわゆる質疑応答の部分についてはなくて、それではなくて、何か緊急動議的な形で入れ込むことができるんじゃないですか。もう日程の中に入れ込めないんですか。

○議事調査課長（道場益男）発言の許可を求める動議という形になるかと思えますけれども、その場合に、議会運営委員長として、例えば昨日までに議会運営委員会として本会議審議をするということを一応了としているという状態がその前にありますので、そこに対して、一回議運で決めた内容と今回上程の仕方がどうかという発言の趣旨というのは、何かちょっと違ってくるような部分もあるものですから、委員長としておっしゃることがどうかなというのは懸念されますけれども。

○委員（福田俊一郎）そうじゃなくて、要するに、日程的に——ここは議運だから、今日の日程を決めればいいわけですがね。今日の議運の中で緊急に入れたらどうかという話ですよ。で、議運として委員長発言をしてもらえれば。議会でそれはみんなに諮ればいわけでしょう。緊急日程は入れられないの。これを作り直さないかんのかな。

○委員長（新原春二）協議会にします。

~~~~~

午後3時30分休憩

~~~~~

午後3時40分開議

~~~~~

○委員長（新原春二）本会議に返します。

それでは、今協議のとおり、委員長において発言をすることにいたします。

---

△閉 会

○委員長（新原春二）以上で、議会運営委員会を閉会します。

薩摩川内市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

薩摩川内市議会運営委員会  
委員長 新原 春 二